

スフィーダ世田谷BFC

<第2回>絵本の読み聞かせとブラインドサッカー体験会をプレゼント

2021年11月25日

双葉の園ひがしやま保育園

令和3年11月25日、スフィーダ世田谷BFCは、社会福祉法人双葉の園 双葉の園ひがしやま保育園様(東京都目黒区)にて絵本の読み聞かせとブラインドサッカーの体験を通じて多様性を知る機会のプレゼントを行いました。

<https://www.facebook.com/105456764610861/posts/405647334591801/>

3歳4歳クラスと5歳クラスを対象に絵本の読み聞かせとブラインドサッカー体験を2回行いました。スフィーダ世田谷BFCの絵本セラピストが園児の年齢に合わせた絵本を3冊選び、アイスブレイクを行いながら、見えない、聴こえない、動けない世界を知る絵本を読みました。どちらのクラスからも想像力豊かな意見があがりました。

小岩井選手との交流では、視覚障害者が使用する白杖を知っている園児が多く、また「魔法の杖みたい」と豊かな表現力が印象的でした。イベントの最後は、3歳4歳クラスはブラインドサッカーボールに触れる、音を鳴らす、転がす体験を、5歳クラスではアイマスクを着けて歩く、ブラインドサッカーボールを蹴る体験を行いました。最後に絵本「みえるとかみえないとか」(アリス館、ヨシタケシンスケ作、伊藤亜紗相談)を2冊プレゼントいたしました。

視覚障害を理解する前に、まずどのような世界なのかを知る。その経験から園児が考える機会を持っていただけたら幸いです。

スフィーダ世田谷BFCでは、絵本の読み聞かせ会のプレゼントを通じて子ども達が多様性を知るきっかけを提供し、混ざり合う社会のきっかけを作って参ります。(報告:鈴木康夫)



